

決算特別委員会

禁煙対策の拡充は

問 禁煙治療費助成の対象は町内在住のみであるが、町内在勤者にも広げる考えは。

答 職場での受動喫煙の被害報告もあるので、事業者への働き掛けも大切であると認識している。

飲料水の備蓄は

問 飲料水は備蓄計画に基づいた備蓄が進んでいない。緊急時に家庭備蓄を持参しての避難は難しいが検討状況は。

答 水の備蓄には場所の問題もあり、家庭備蓄の啓発をしているが、代替の備蓄方法も考えていきたい。

たこの漁獲量の現状は

問 令和3年度と比べて令和5年度は9分の1まで減少しているが、これは何か方針があってのことなのか、不漁の影響なのか。

答 海水温など環境面の影響が大きいと聞いている。毎年8月に、漁協と協力し、たこつばを投入している。

公有財産の活用は

問 公有財産の有効活用として、売却や貸付など様々な観点から、中長期的な活用を検討する必要があるのでは。

答 施設の複合化なども含め、公有財産の中長期的な活用を検討していきたい。

業務全体の最適化は

問 ガバメントクラウド構築に向け課題検討を行っているが、フロントヤード改革など全体最適を目指すべきでは。

答 部分的にではなく、全体が最適となるように、DX化や電子自治体を推進していきたい。

放置自転車は

問 駅周辺の放置自転車回収の中で盗難届の出ている自転車はあるのか、所管課の間で情報共有されているのか。

答 危機管理課としては、自転車盗難と放置自転車の情報共有はしていない。土木課では、回収した放置自転車は加古川警察署に盗難届の有無を照会している。



住民の利用が進む



たこがたくさん獲れますように



病気のときも安心



回収された放置自転車

庁用バスの利用は

問 令和5年度の庁用バスの運行日数は、76日で空き日が多くある。複数回の自治会利用は検討されたのか。

答 令和5年7月から利用できる団体を増やしており、町の行事を優先しているが、今後利用状況を見ながら検討する。

コミセンサテライトは

問 各コミセンのサテライトと、ふれあいルームの両方へ通う方は。

答 家から近いサテライトと、ふれあいルームを選んで利用しているが、行きやすさや地域性により重複している方もいる。

経常収支の改善は

問 経常収支比率が93.9%となり、人件費や物件費など経費が上がっている。歳入を増やし、歳出を削減する取り組みは。

答 債権管理課ができ収納率が向上するなど歳入を増やした。歳出は、各部に予算要求限度額を設定し、一定の削減効果があった。

病児保育の状況は

問 病児保育の利用人数が増えている。登録している人が、利用したいときに受け入れができていない状況なのか。

答 住民の方から、予約を断られたという声は聞いていない。概ね受け付けができていないと認識している。

見守りカメラの位置は

問 見守りカメラの設置場所を、近くに住んでいる方へのお知らせはどうするのか。

答 自治会に回覧をしてもらっており、確認する機会はあった。工事の際は、業者が近隣の方にお知らせし、電柱に見守りカメラ設置の表示を行う。

防災行政無線は

問 放送内容が聞こえにくい。問題解決に向けて、スピーカーを点音源から、線音源に取り換える検討は。

答 更新費用の高額を考慮し、引き続き、多種多様な情報取得啓発を続けるとともに、電話の自動応答による提供を行う。050-1807-6869